

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金“日本語パートナーズ”
サティセタブットバンペン校（パソク・ミングリ）

第16回派遣報告 「ワイ、合掌」

2019年1月

タイの年末年始は、大晦日の12月31日と1月1日が休みで、すぐ通常に戻ります。生徒にどう過ごすのか聞くと、家族でお寺に行ってタンブン(布施)してから、親戚や家族で食事するそうです。

タイの正月は、4月のソンクラーンです。元々は家族が集まり、仏像を清め、年長者の手を、少量の水をかけて敬意を表したものだそうです。今では、水をかけるところだけが取り上げられ、ソンクラーン・フェスティバル「水かけ祭り」として、有名になっています。

中間試験が終わると、朝礼で「ワイ」挨拶の正しい作法を教わります。クラスから代表者4名がステージにあがり、見本を見せながら先生が説明します。座った場合と、立った場合を順にします。座礼、立礼共に「僧侶への挨拶」「目上の人への挨拶」「同僚、同年代への挨拶」があります。

手は、花のつぼみのように、中央を膨らませて合わせます。両手は、親指が眉間、鼻の頭、顎と位置の違いがあります。挨拶は「相手を尊敬します」の意味です。ワイをされたら必ず返します。美しい挨拶は人間関係の基本と考えます。

